



OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

W E E K L Y R E P O R T

設 立 昭和63年(1988)5月23日

事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-7-3 大丸北炭屋町ビル6階
TEL. (06) 6244-1008 FAX. (06) 6244-1010
WEB. <http://sembarotary.club> E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp

例 会 毎週月曜日・12時30分・ホテル日航大阪 Tel. (06) 6244-1111

会長 伊藤清一 幹事 林拓 会報広報委員長 岡野秀章

大阪船場 ロータリークラブ

四つのテスト／言行はこれに照してから I. 真実かどうか II. みんなに公平か III. 好意と友情を深めるか IV. みんなの為になるかどうか

第1292回 例会 2017年(平成29年)7月24日

本日のプログラム

(本日のプログレス 岡本 茂 SAA)

- ロ-タリ-ソング「おおロータリー」
- 会長の時間 ◎ 幹事報告 ◎ 委員会報告 ◎ ニコニコ箱報告 ◎ 出席報告
- フリートーク「卓話」について
- 第6回30周年実行委員会 31階「ローズ」13:40~15:00

前回(7月10日)例会記録

◇プログレス 岡本 茂 SAA

- ・たなばた
- ・サンタルチア
- ・川はよんでる

1. 来客紹介 小島 常男 親睦委員長

ゲスト: 3名 地区外: 0名 地区内: 3名 合計: 6名

ゲスト: 元米山奨学生(1990.4-1992.3) 王 昭文 様

〃 ご令嬢 林 青蛸 様

米山奨学生 フレディアント 君

2. 会長の時間 伊藤 清一 会長



日航ホテルで開催する今年度初めての例会です。

先週のホテルリッツ・カールトン大阪での初例会では、私の今年度方針を十分に皆様に伝えることが出来ずに終えてしまいました。

これからのこの「会長の時間」を使って少しずつ補足していければと思います。まだ明確にこうしたい

ロータリー：変化をもたらす

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

こうあるべきだという具体策はまだありませんが、この一年をかけて自分なりに考えていきたいと思っておりますのでよろしく
お願いいたします。

初例会の後、15人ほどで二次会に行きました。和気あいあいと楽しく時間を過ごすことが出来ました。とりわけ澤田前々
会長の、(今日はバヌアツの歯科治療奉仕に行っておられて欠席されておられますが)ロータリーに対する思い、奉仕に
対する情熱が大変強く例会の話題がどうしても固くなりすぎてしまうというイメージがありますが、澤田会員の「私は固くない、
本当は柔らかいのよ」という話が印象的でした。また、懇親会の延長で相変わらずリーダーシップを発揮される中村会員の
存在感には恐れ入ります。

九州北部を襲った豪雨災害は、今日で7日目ですが、依然として多くの人が避難され、また行方不明の方もおられますが
その方々にお見舞い申し上げるとともに亡くなられた21名の方々に謹んで哀悼の意を表します。

ところで、昨年の「ロータリーの友」の7月号を読んでいて、昨年の国際ロータリーの会長ジョン・ジャーム氏の出身地の
アメリカのチャタヌーガという地名に目が留まりました。チャタヌーガといってもほとんどの人はご存じないと思いますが、
20年前に訪問したことがあります。業界のツアーでチャタヌーガと、そしてチャタヌーガから一番近い大都市、今年の
世界大会のあったアトランタに行きました。チャタヌーガ自体は何の変哲もない一地方都市ですが、1960年代は
公害で大気汚染がひどく環境が破壊され全米でも悪評判の高い町だったのですが、1990年代に環境問題に取り組み、
当時としては一番注目される町でした。そして今では全米でも最も住みよい都市に生まれ変わりました。
多分ジャーム前会長もチャタヌーガの町を良くする再開発の一員として努力されたかと思いますが、チャタヌーガという
ことでジャーム前会長のことを身近に感じました。ということで昨年の「ロータリーの友」の会長のプロフィールを改めて
読んでいて、その中で柔軟性の問題を取り上げておられます。

「例会を何回開いたか」ではなく「地域社会にどのような変化をもたらしたか」だと言っておられますが、「クラブはいつも
食事が中心でした。会費の大半は例会の昼食であり、歓迎会などの夕食であり、今まではそれでよかったのです。」
しかし家族を養っている若いビジネスマンをロータリーに迎え入れるのに、今まで通りでいいのだろうか」という質問を
投げかけられています。

今年度のライズリー前会長も会員構成として男女バランスと平均年齢を課題として挙げておられて、「強いクラブであり続ける
には、奉仕する地域社会を映し出すような会員構成にし、次世代のために知識豊富なリーダーを育成し続ける必要がある。」
そして「そういう若い人たちの中に毎週の例会に出席できない人がいる。その若い人が時間を無駄にしないで参加できる
仕組みづくりが必要ある。」とありました。

今週土曜日からバリ島に国際奉仕で出発しますが、現地で塩尻副会長主催のクラブ再発見の委員会が開かれます。
昨年の「ロータリーの友」と今年の7月号も参考にさせていただけたらと思います。

3. 委員会報告

◎国際奉仕委員会 塩尻 明夫 会員

岡本会員が怪我のため例会欠席ですので、バリ島支援ご参加の方へ塩尻からご連絡申し上げます。

- ①現地旅費となるラムツツアーには、出国迄に振込をお済ませ下さい。
- ②インドネシアの医療費は高額の為、必ず海外旅行障害保険へ加入下さいとアナウンス願います。閑空でも入れます。
- ③岡本会員は15日出発メンバーには入っていないので、閑空での集合場所や時間(8:50チェックイン)をご確認下さい
- ④デンパサール空港での出迎えプレート名は「船場ロータリークラブ」です。
- ⑤30周年拡大委員会を行います(夕食時、適当な時間で2回開催予定)

4. 新入会員入会式



岡本真太郎会員のご推薦で入会された島田琢也会員の入会式が執り行われ、伊藤会長よりエンブレムが授与されました。

5. ニュニコ報告 松永 修 親睦委員

片岡 会員……先週は初例会を欠席してすみませんでした。

清水、岡本(茂)、新川、斧原、小山、北野、沖、杉浦、甚田、塩尻、藤井、宮原、井澤、伊藤、大磯、松谷、岩崎、高階、岡野、カンタトーレ、

各会員……本日は今年度委員会方針発表です

6. 出席報告 岡本 茂 SAA

会員総数 41名 出席率計算会員数 39名 出席会員数 36名 出席率 92%

第1289回(6月19日) 修正出席率 98%

7. 委員会今年度方針

◎ 伊藤 清一 会長

①7月8月の2ヶ月間の卓話の時間を使って、クラブ運営にとって重要な課題である「増強」「卓話の充実」「これからの船場ロータリークラブのあり方」の3点について、フリートークで活発な意見交換を行いたい。

②クリスマス懇親会のオークションについて

最近では出品者に対して、申し訳ないような価格(半分程度の値段)でしか落札されていない事例が多発している。

国際ロータリー前会長のジャーム氏はジャックダニエルのウイスキーを樽ごと買ってきて、それを小分けして、かなりの高値で会員に買ってもらったと聞きます。そういったことを当クラブでも考えられないでしょうか。

◎ 職業奉仕委員会 小山 章松 委員長

1. 本年度の委員会の方針は「クラブ活動計画書及び概況」の10頁に記載したとおりです。

2. 職場見学は「公益財団法人大阪国際がん治療財団」の重粒子治療施設を見学する予定です。

(大阪市中央区大手前3丁目)

3. ロータリークラブにおける職業奉仕の位置付けについて、職業奉仕月間で卓話の時間にバズセッションする予定です。

4. 会員の会社案内の作成

◎ 社会奉仕委員会 上月 環 委員長

4月5月に研修に参りましたが、他のクラブの方は活動内容をよくご存じで、私は全く知らないものでこれから知るようにしたいと思いました。

◎ 青少年奉仕委員会 岩崎 寿英 委員長

昨年に引き続き青少年奉仕委員長を仰せつかりました岩崎です。

若い人々の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来をもたらすために若者の生活力を高めることによって、若い人々に将来への準備をさせることは、各ロータリアンの責務である、とロータリー章典に書かれています。

青少年とともに奉仕活動を行うことを方針とします。

年次計画としては、開平小学校の児童の会員企業への受入れ、大阪 YMCA 国際専門学校との交流、ライラ、ニコニコキャンプへの参加、バリ島の学校施設への支援等、への取組、そして、30周年事業への取組を行っていきたいと思います。どうぞ皆様のご協力もよろしくお願い致します。

◎ ロータリー財団委員会 沖 真一郎 委員長

本年度はクリスマス家族懇親会のオークションを取りやめると聞きます。

RC 財団委員会では毎年オークション会計(けんねんは本会計)より20万予算を頂いております。

2016年11月にはRI 財団への年間寄付(160ドル/人)の内、一人5,000円のオークション会計より、11,320円を個人預金より出しています。その財源のオークションが取りやめることについては大変憂慮しております。

委員会の方針と言うよりも、心配事に成りましたが宜しく申し上げます。

◎ 米山奨学委員会 宮原 彰 委員長

皆様ご存知の様に本年度はインドネシア国籍のフレディアント君をお世話することになりました。期間は2017年4月1日～2019年3月31日までの2年間です。その間カウンセラーの岡本真太郎様には大変ご苦労をおかけいたしますが、よろしくお願い致します。

奨学生の受け入れ担当クラブは米山奨学会への寄付金額の上位から選抜されます。

2017年度は42名募集の内、12名は別枠として決まっており、新規の募集は30名でした。

近年米山奨学生のお世話を希望されるクラブが多くなり、競争が激しくなっております。そのため多くのクラブにお世話いただく方策として、1人の奨学生を2つのクラブでお世話する2クラブ制も検討されております。

奨学生を受け入れお世話することにより、米山奨学会の国際理解と親善の理念を深める機会となりますので、当大阪船場RCも継続して受け入れ、お世話できる体制を構築して行きたいと思います。

◎ SAA 委員会 岡本 茂 委員長

会長の活動方針にもありますように、今年のクラブ活動は一人ひとりの魅力を引出し、一人ひとりの再発見につながるように、例会も特に卓話の時間では、従来とは少し異なった変化のある例会や卓話を目指します。

そのためにも、会長、幹事とよく連携し、各会員の声によく耳を傾けて、工夫をこらしたプログラムの企画とその運営に取り組みます。

また、例会場では規律、マナーを遵守し、品位の向上に努めます。どうぞ1年間、会員皆様のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

☆次回7月31日(月)例会予定

・フリートーク:規定情報委員会・クラブ再発見委員会・戦略委員会